グリップヒーター HG115/120/125　取扱説明書

JPHAN530A01、B01、C01

このたびは本商品をお買い上げいただき、有難うございます。
正しく取り扱いいただき、末永くご愛用いただけますようにお願い申し上げます。
また本書は大切に保管してください。

安全上の注意事項

作業に始める前に本書を必ず熟読いただき、記載事項を厳守して作業を行ってください。

⚠警告　※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

・本商品はパッケージまたはWEBページに記載された適合車種以外への使用はしないでください。
（最新の適合車種は弊社WEBページでご確認ください）
また、本商品はすべての車両への取り付けを保証しておりません。車種やお客様の使用状況によっては取り付けできない場合がありますのでご了承ください。

・12V車両専用です。6V車両や24V車両などには使用しないでください。。

・取り付けや配線ミスにより発生いたしました破損・不具合等については保証の対象外となります。

・皮膚に本商品の両面テープを貼らないでください。

・本商品の取り付けには両面テープを使用しますが、両面テープでの完全な密着は不可能ですので、使用している間にはがれが生じる可能性があります。定期的なチェックを行い、走行中にはがれないようご注意ください。また、両面テープの性能を発揮させるため、装着後24時間は走行を控えてください。両面テープが浮いてしまいそうな箇所は、両面テープが密着するようにテープ等で押さえ、24時間後にそのテープを外してください。

・必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか、手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

・本商品を取り付ける際には使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷が見られた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのまま使用していると重大な事故等につながる恐れがあります。

・取り付け後は走行前に各部に異常がないか毎回点検を行ってください。

・本商品の脱落がないように確実に取り付けてください。また作業中および使用中についたキズ等については保証の対象外になります。あらかじめご了承してください。

・取り付け後約100km走行しましたら各部を点検し、ネジ部等の増し締めを行ってください。その後、約500km毎に必ず点検して行ない、同様に増し締めを行ってください。

・走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所へ停車し、異常箇所を点検してください。正常に機能しない場合にはご使用をおやめください。

＜グリップ温度について＞

グリップヒーターは非常に高温になりますので、素手でのご使用はお止めください。レベル5や4などの高レベルの状態での常時使用は絶対に行わないでください。バッテリートラブル、やけどの恐れがありますので、高レベルは初期の急速暖め用のみのご使用としてください。
また、レベル1や2などの低いレベルでの使用時でも、長時間の連続使用や使用状況によっては、低温やけどをしてしまう可能性があります。そのため、長時間の連続使用時にはグリップヒーターを30分以上使用しないで一旦スイッチを切るなどをしてください。
また、グローブ装着時でも同様に低温やけどをする恐れがありますので、ご注意ください。

＜バッテリーについて＞

125CC以下の車両のような発電容量が低い車両への取り付けにはご注意ください。充電不足になってしまい、バッテリートラブルを引き起こすことがあります。また、長時間の暖機運転を行うとバッテリーを消費してしまい、商品が正常に動作しなかったり、バッテリー上がりを起こしてしまいます。発電容量の低い車両には、本商品では最大出力設定を行ない、車両に適した最大出力値に設定することで、グリップヒーターの取り付けによる消費電力が多くなっても、バッテリーへの負荷を減らすことができます。走行前や長期保管した車両にはこまめにバッテリーをチェックしていただき、メンテナンスを行ってください。

＜重要＞取り付ける前に必ずお読みください。

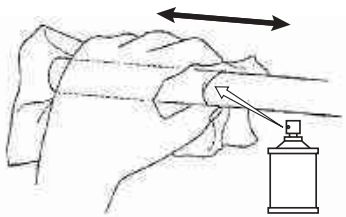
HIDキットや社外品のイグニッションコイルなど高電圧ノイズが出る商品と同時に装着しないでください。高電圧ノイズによりデジタル回路に悪影響を及ぼし、メーターの誤表示、最悪の場合には故障の原因になる恐れがあります。そのため、適合は電装系が**全てノーマル車のみ**となっておりますのでご注意ください。**電装系がノーマルではない車両に取り付けした場合、本商品が故障しても保証の対象外となり、一切の保証はできません**ので、ご注意ください。また、本商品は完全防水ではなく、防滴構造となっております。通常の雨程度であれば内部に水が浸入することはありませんが、水中に落としたりして水没させると内部に水が浸入してしまいますのでご注意ください。

●取り付ける前に

・バッテリーのマイナス端子を取り外して作業してください。

・作業が終わったら、マイナス端子は元に戻してください。

・車両のサービスマニュアルを参考にして、左右のグリップを取り外して、本商品を取り付けする部分の汚れをパーツクリーナーなどを使用して、取り除いてください。



●取り付けについて

①配線の接続について（図①）

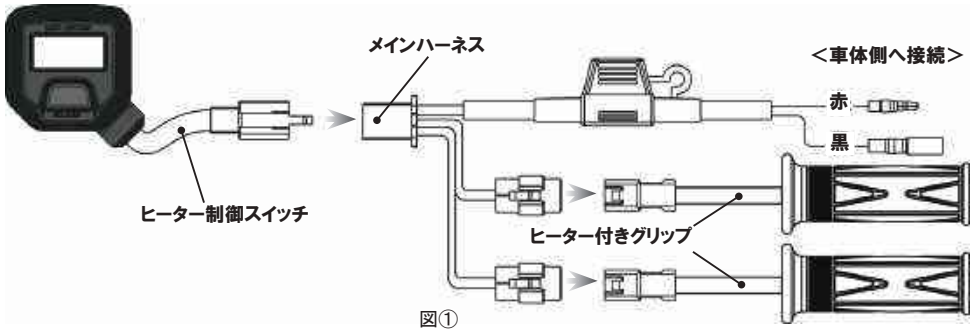
グリップヒーター側のギボシはφ3.5（ホンダ車サイズ）となっております。
車体側と接続する場合は付属しているギボシセットを使用して接続してください。また別途、車両別取り付けキットに同梱されている説明書をご確認のうえ、専用取り付けハーネスなどを使用して接続してください。

＜配線＞

・黒（アース線）・・・適切なアース線が見つからない場合には、フレームなどに直接アースしてください。
（※SUZUKI車の中にはフレームアースが無い車両がありますのでご注意ください）

・赤（DC12V電源線）・・・キーONでDC12Vの電圧がかかる配線に接続してください。

※車体に取り付けする前に、ハーネス、左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題なく動作すれば、グリップとスイッチなどは一旦ハーネスから外しておきます。



図①

※付属しているエレクトロタップは配線を簡単に接続できて便利ですが、接続不良のトラブルが起きやすい部品です。特に走行振動に弱いので、使用する場合には配線テープなどで揺れないようにしてください。
できるだけエレクトロタップは使わないようにして、ギボシでの接続をお勧めします。



2024.06.19

＜グリップヒーターの取り付け＞

●NOTE●

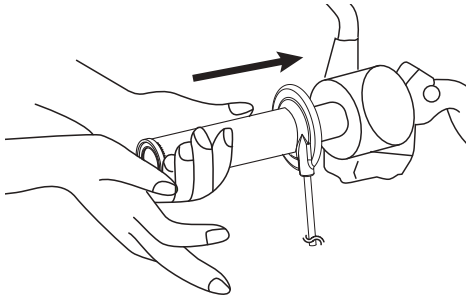
ヒーター付きグリップですが、内径の小さい方が左側用で、大きい方が右側用（スロットル側）です。グリップとハンドルやスロットルパイプとのクリアランスが大きい場合には、付属のアルミシールをハンドルやスロットルパイプに貼ってクリアランスを狭くし、グリップが回らないようにしてから固定してください。または別売りの接着剤を使用して固定してください。

●注意●

車両についているスロットルパイプにグリップのズレ止め用突起（凸）がある場合には、すべて削り取ってください。グリップがスムーズに入るようにきれいにしてください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。

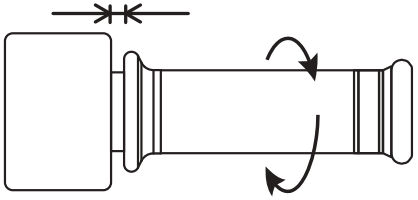
付属のアルミシールを使ってグリップヒーターとハンドルのクリアランスを狭くし、グリップが回らないようにしてから固定してください。

アルミシールではなく接着剤でがっちり接着したい場合には、**コニシ製ウルトラ多用途**などの耐熱性のある接着剤をご使用してください。



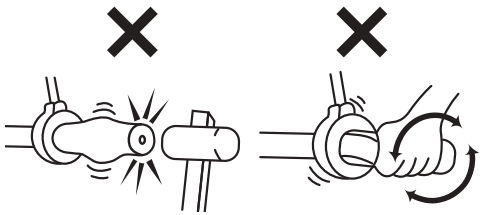
同時にスロットルハウジングとグリップのクリアランスを確認してください。

※こちらのクリアランスが少ない場合は、スムーズなスロットル操作が行なえない可能性がありますので、ご注意ください。



●注意●

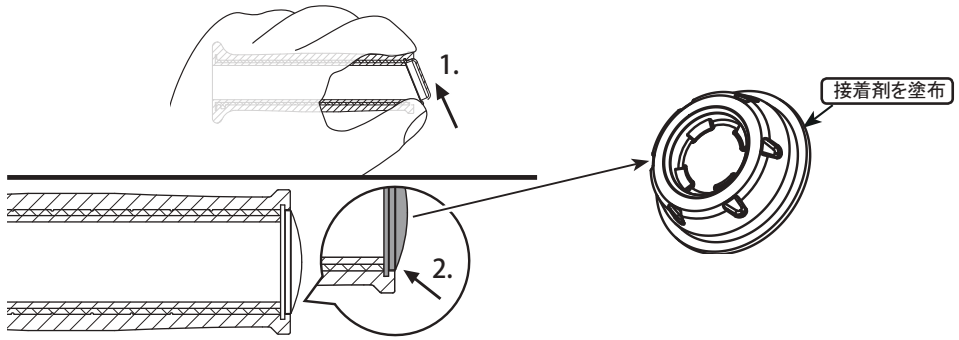
取り付ける際に、ハンマーなどで端部を叩いたり、無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。



＜バーエンドの取り付け＞

本商品は純正のバーエンドがそのまま取り付けできるようになっております。
別梱包の車両別取り付けキットにワッシャーおよびスペーサーが同梱してある場合があるので、そちらを参考にしてバーエンドを取り付けをします。

また、純正バーエンドを使用せず、本商品に付属のエンドキャップを使用する場合には、接着剤（別売り）を使ってグリップに固定してください。



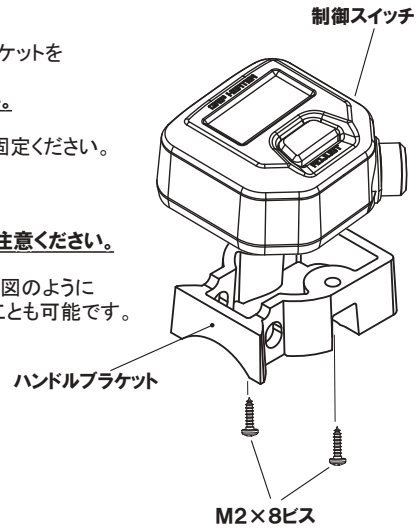
②ヒーター制御スイッチの固定について

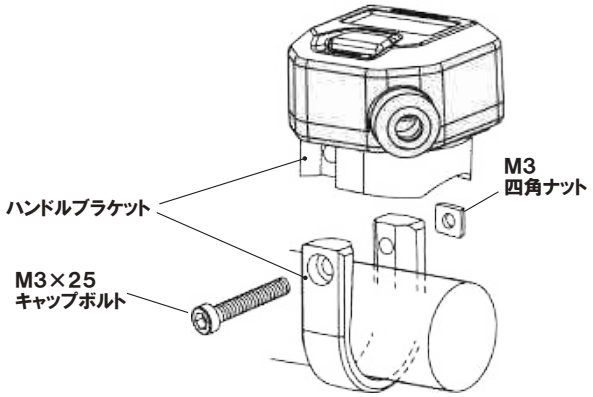
付属のM2ビスを使用して、右図のように制御スイッチにブラケットを固定してください。
※締めすぎると空回りして固定できなくなるのでご注意ください。

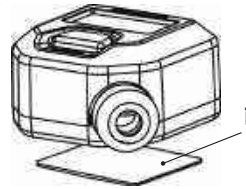
そのあとで、下図を参考にしてハンドルやマルチバーなどに固定ください。
＜規定トルク＞
M3キャップボルト・・・0.2N・m

※四角ナットは非常に小さくて、開封時に無くしやすいのでご注意ください。

また、ハンドルやマルチバーで固定できない場合には、右下図のように両面テープなどを直接、制御スイッチに貼り付けて固定することも可能です。







2023.06.06

③ヒーター制御スイッチの動作手順について



イグニッションキーをONの位置に回すと、
LEDバックライトが点灯し、電圧を表示します。
※このとき、まだ加熱は開始していません。

＜スタートアシスト機能オフの場合＞
ボタンを一回押す。
→前回イグニッションキーをオフにしたときに
記憶されたレベルで加熱を開始します。

※加熱レベルを変更して、数秒間保持
しないと加熱レベルは記憶されません。

＜スタートアシスト機能オンの場合＞
ボタンを一回押す



設定した“スタートレベル”で加熱を開始し、
設定した“アシスト時間”経過後、自動的に
設定した“エンドレベル”に移行します。

“スクロール”

●NOTE●
スタートアシスト機能が働いているとき
は左側のメモリが上下に1～5まで
スクロールします。

ボタンを一回押す、またはアシスト機能終了時



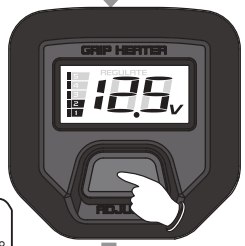
左側のメモリがスクロール状態
（スタートアシスト機能オン）で
ボタンを1回押すとスタートアシスト機能が
終了します。
このとき、設定したエンドレベルになります。

ボタンを一回押す



ボタンをもう1回押すとレベルがさらに
1つ下がります。レベル1の次は OFF
で、その次はレベル5になります。

●NOTE●
レベルは1～5の5段階で、5が最大です。
レベルバーが全部消えるとヒーター OFF
です。



ボタンを一回押す

④ヒーター制御スイッチの設定について
（1．LED輝度調整、2．レギュレート機能、3．最大出力、4．スタートアシスト機能）

1．LED輝度の設定（初期設定値：5）
バックライトの明るさを5段階で調整可能となっております。
＜設定方法＞



制御スイッチに電源が入っている状態で、ボタンを3秒以上長押しすると、
電圧値ではなく”ILL”の文字が点滅し、LED輝度調整ができる状態に
なります。

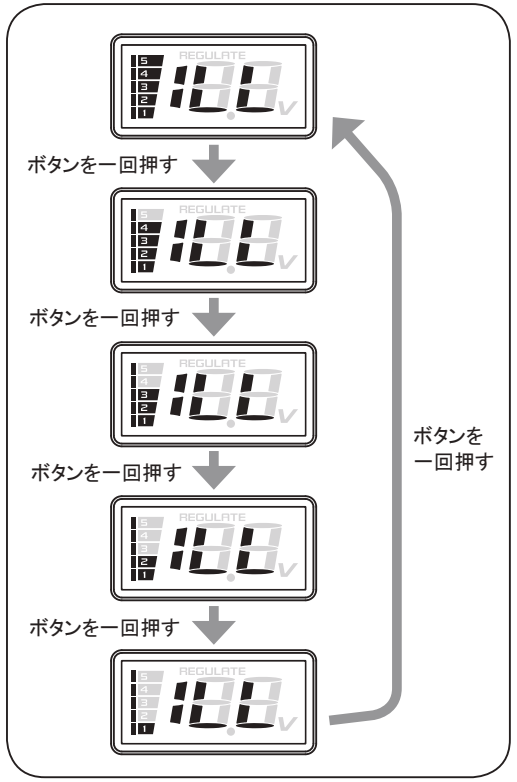
その後、ボタンを短押しすると輝度レベルが5段階で変わります。

ボタンを長押し
（3秒以上）



“点滅”

ボタンを短押し



ボタンを長押し
（3秒以上）

＜レギュレート機能設定へ＞

ボタンを1回短押しすることで、輝度レベルが上図のように
“5→4→3→2→1→5→4・・・・”のように変更されます。
お好みの輝度レベルに設定が終わったらボタンを3秒以上長押しして、
次の設定（レギュレート機能設定）に変わります。

●NOTE●
レベルは1～5の5段階で、5が最大です。

2021.04.22

2．レギュレート機能の設定（初期設定値：11.4V）

レギュレート機能とは、取り付けた車両の電圧低下に追従してグリップヒーターへの通電量を制限する機能です。
設定した電圧以下になった場合にヒーターの出力を制御して車両の電圧がこれより下がらないようにします。
電圧が上がってくれば、自動的に元のレベルで暖め始めます。

＜設定方法＞



“点滅”

制御スイッチに電源が入っている状態で、ボタンを3秒以上長押しすると、
電圧値と”REGULATE”の文字が点滅し、レギュレート機能が働く下限電圧
の設定画面に入ります。

その後、ボタンを短押しすると電圧値が0.1V単位で変わります。

設定したい電圧値になったら、ボタンを3秒以上長押しして、
次の設定（最大出力設定）に変わります。

設定した電圧以下にならないように、ヒーターの出力を自動的に制御します。

●NOTE●
調整範囲は10.0V～13.0V（0.1V単位）です。

ボタンを長押し（3秒以上）

3．最大出力の設定（初期設定値：レベル5→100%、レベル1→20%）

発電容量の低い車両などには、グリップヒーターの最大出力値を減らすことで車体への負荷を減らすことができます。
“レベル5の出力”“レベル1の出力”をそれぞれ設定しておけば、車両に適したグリップヒーターの設定になります。
※車両によって適切な設定が異なりますので、それぞれの車両に合わせた設定をご自身でお選びください。
＜例＞“レベル5は50%の出力”で“レベル1は20%の出力”にする。

“点滅”



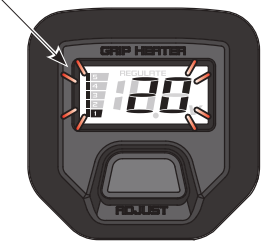
レギュレート機能の設定から、さらにボタンを3秒長押しすると、
最大出力の設定画面に入ります。
その後、ボタンを短押しするとレベル5における加熱出力値を100～
50%で変更できます。設定したい出力に合わせてから、ボタンを
3秒以上長押しして“レベル1の出力設定”へ移動します。

＜例＞“50”に設定する。（50%の出力）

●NOTE●
調整範囲は50～100%（10%単位）です。

ボタンを長押し（3秒以上）

“点滅”



つぎは、レベル1の出力設定になります。
その後、ボタンを短押しするとレベル1における加熱出力値を
50～10%で変更できます。ただし、最大値は前項で設定した
レベル5の出力設定値－20%までしか設定できません。
（レベル5を50%にした場合、レベル1は30～10%の調整幅です。）
設定したい出力に合わせてから、ボタンを長押しするとスタートアシス
ト機能の設定画面に戻ります。

＜例＞“20”に設定する。（20%の出力）

●NOTE●
調整範囲は50～10%（10%単位）です。

ボタンを長押し（3秒以上）

●NOTE●
レベル2～4の出力については、設定したレベル1、5の値から均等割りになります。
例）レベル5__50%、レベル1__20%→→→レベル4__42.5%、レベル3__35%、レベル2__27.5%
また、初期設定値は
＜レベル5__100%、レベル4__80%、レベル3__60%、レベル2__40%、レベル1__20%＞
になります。

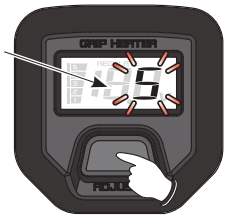
4．スタートアシスト機能の設定（初期設定値：OFF）

スタートアシスト機能とは、エンジン始動時にだけ加熱設定を高くして素早く暖める機能です。
“アシスト時間”“スタートレベル”“エンドレベル”を設定しておけば、キーON時にボタンを1回押すだけで
設定した通りに加熱します。

＜例＞“レベル5”で“5分間”暖めてから、その後“レベル3”に下げる。

“点滅”

“アシスト時間”



前項の出力設定（レベル1）の設定から、さらにボタンを
3秒以上長押しすると、スタートアシスト時間の設定画面
に入ります。
その後、ボタンを短押しすると時間（分）が変わるので
設定したい時間に合わせてから、ボタンを長押しします。

＜例＞“5”に設定する。（5分間）

●NOTE●
調整範囲はOF、1分～20分（1分単位）です。
OFを選ぶとスタートアシスト機能オフ（使用しない）
の設定となります。
OFを選ぶと次項に進まず、通常画面へ戻ります。

ボタンを長押し（3秒以上）

“点滅”

“スタートレベル”



次は、スタートレベルの設定画面に入ります。
ボタンを短押しするとスタート時の加熱レベルが変わるので
設定したい加熱レベルに合わせてから、ボタンを長押し
します。

＜例＞“5”に設定する。

●NOTE●
調整範囲は［3］～［5］です。

ボタンを長押し（3秒以上）

“点滅”

“エンドレベル”



次はエンドレベルの設定画面に入ります。
スタートアシストが終わったときにいくつの加熱レベルにする
か、ボタンを短押しして設定したいレベルに合わせます。
その後、ボタンを長押しして通常画面へ移動します。

＜例＞“3”に設定する。

●NOTE●
調整範囲は［0］～［4］です。
※スタートレベルより高いレベルは選択できません。

⑤レギュレート機能動作時について

設定した電圧以下になった場合にヒーターの出力を制御して車両の電圧がこれより下がらないようにします。
この状態になると電圧値、選択しているレベルゲージ、“REGULATE”の文字が点滅します。
電圧が上昇して、設定した電圧以上になれば、元のレベルで加熱します。電圧値が上がってこなければ、
どんどん出力が低下して、最終的には暖まらなくなります。

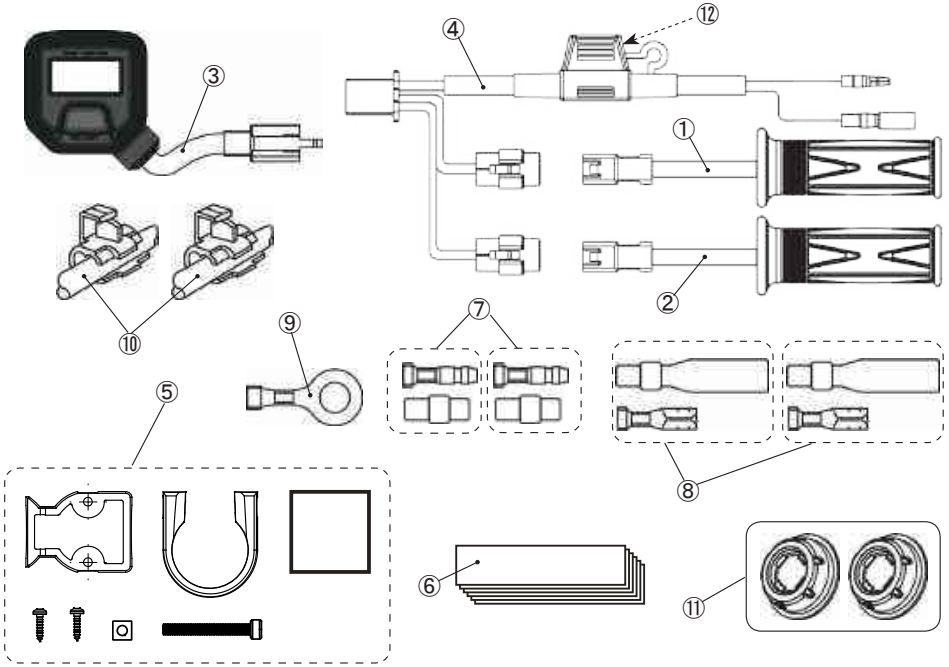
REGULATE

“点滅”



2021.04.22

●構成部品について



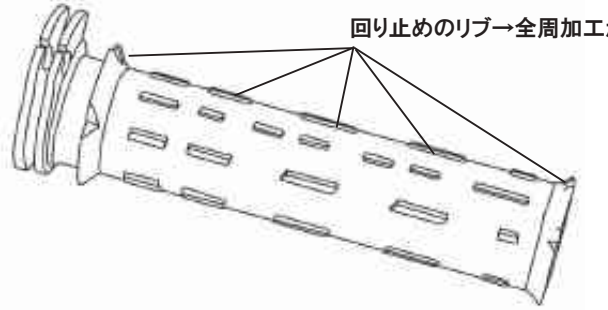
番号	部品番号	品名	HG115	HG120	HG125	金額
①	08T50-HAN-E01	グリップヒーター115 L側	1	ー	ー	¥4400税込
	08T50-HAN-E41	グリップヒーター120 L側	ー	1	ー	¥4400税込
	08T50-HAN-E51	グリップヒーター125 L側	ー	ー	1	¥4400税込
②	08T50-HAN-E11	グリップヒーター115 R側	1	ー	ー	¥4400税込
	08T50-HAN-E31	グリップヒーター120 R側	ー	1	ー	¥4400税込
	08T50-HAN-E61	グリップヒーター125 R側	ー	ー	1	¥4400税込
③	E08T51-HAN-T1	HGヒーター制御スイッチ	1	1	1	¥5500税込
④	08Z51-HAN-E01	メインハーネス	1	1	1	¥2200税込
⑤	E08T53-HAN-A1	ハンドルブラケットセット	1	1	1	¥1320税込
⑥	08T50-EWA-E0H	ｱﾙﾐﾃｰﾌﾟ ｸﾞﾘｯﾌﾟﾋｰﾀｰ用（6枚入り）	1	1	1	¥220税込
⑦	08T50-EWA-E0A	φ3.5オスギボシセット	2	2	2	各¥110税込
⑧	08T50-EWA-E0B	φ3.5メスギボシセット	2	2	2	各¥110税込
⑨	08T50-EWA-E0D	6mmアース端子	1	1	1	¥110税込
⑩	08T50-EWA-E0E	エレクトロタップ	2	2	2	各¥110税込
⑪	08T50-HAN-E21	グリップエンドキャップセット	1	1	1	¥1100税込
⑫	HYU4	グリップヒーター用ヒューズ	1	1	1	¥165税込
⑬	JPHAN530A01	グリップヒーターHG115	1	ー	ー	¥12980税込
	JPHAN530B01	グリップヒーターHG120	ー	1	ー	¥12980税込
	JPHAN530C01	グリップヒーターHG125	ー	ー	1	¥12980税込

※価格、品番等々は予告無く変更する場合がありますのでご了承ください。

2024.06.19

グリップヒーター装着について注意事項
※必ずお読みください

＜スロットルパイプの加工について＞
純正スロットルパイプは下図のようにグリップ回り止めのリブが立っています。そのためグリップヒーターの装着には、リブ加工する必要があります。ただし、リブを全部削り取ってしまうと削りすぎになるので、スロットルパイプの加工した部分の外径がφ26.0～ φ 25.6になるように加工してください。



ご自身で加工される場合、リブを削った後に一旦、接着剤は使用せずにグリップヒーターを差し込んで確認してください。手で差し込んでちょっときついくらいで、外そうとすれば外せるくらいならば、グリップヒーターのケーブルの角度、位置を確認し、接着剤を使用して取り付けしてください。
差し込みに苦労するくらいきつい場合は加工不足なので、**無理に押し込まず**再度加工してください。

※無理やり押し込んだ場合、途中で奥まで入らなくなってしまったり、ハンマーなどで叩き込んだりすると、グリップヒーターの破損に繋がりますので、絶対におやめください。
この場合、保証の対象外になり一切の保証ができませんのでご注意ください。

＜取り付けについて＞
グリップヒーターは簡単に抜けてしまうと大変危険なので、ハンドルやスロットルパイプとのクリアランスを小さくしています。そのため、組み付け時にはきつくて組み付けにくい場合があります。

・推奨取り付け方法・
グリップを取り付ける前に、グリップヒーターの説明書を参考にして配線加工を行い、電源が入る状態にします。電源をONにして、グリップヒーター自体をじっくり暖めてから、取り付けると幾分取り付けやすくなります。（**目安は3分程度で、これ以上暖めるとグリップヒーターの変形や破損する恐れがありますのでお止め下さい。特にスロットル側は厚みが薄いので、手で触ってほんのり暖まっている程度でおやめください。**）
このとき内側には接着剤を塗布しますが、熱で接着剤の成分が霧状になってしまう恐れがありますので、吸わないようにマスク等してから取り付けしてください。
また、パイプに差し込む時に途中で止めてしまうと接着剤でくっ付いてしまいます。途中でグリップヒーターを止めないようにくるくる回しながら差し込むとくっ付かないで取り付けできます。

※注意※
グリップヒーターを暖めるとかなり熱くなりますので火傷しないように注意してください。
また、暖め過ぎると変形、破損しますのでご注意ください。

・接着剤での取り付けについて・
付属のアルミシールではなく接着剤でがっちり接着したい場合には、**コニシ製ウルトラ多用途**などの耐熱性のある接着剤をご使用してください。その際にはすぐには接着されないので、使用した接着剤に記載されている硬化時間まで待ってから使用してください。

※注意してください※
グリップヒーターとハンドルバー（もしくはスロットルパイプ）のしめしろが、部品公差や加工具合によって変わることで接着力が弱くなる場合もありますので、走行前にはかならず接着されていることを確認してください。
もし、緩んでいる場合には、アルミシールを追加するなどして接着し直してからご使用してください。

＜Q&A＞
ご質問、お問い合わせを多くいただいている事例について、下記にてQ&A方式にして記載してありますので、お問い合わせいただく前に一度ご確認ください。

Q：事前にグリップを暖めたのに、右側（スロットル側）のグリップだけ硬くて入れにくい。
A：スロットルパイプには、グリップの回り止めのリブが表面に立っている場合が多いです。この場合には、加工が不十分だと考えられますので、グリップが入る部分全てのスロットルパイプの外径がφ26.0～φ25.6になるように加工してください。

Q：メーター部分の電圧表示が点滅していて暖まらない。
A：本商品のレギュレート機能が働いている可能性があります。バッテリー電圧より、レギュレート機能で設定している電圧が低くなっている場合には表示が点滅して、バッテリー保護のためヒーターが作動しません。レギュレート機能の設定電圧を低くするか、バッテリーを充電または交換してください。

Q：メーター部分の電圧表示がデタラメな表示をしていて暖まらない。
A1：グリップヒーターの電源を取っている部分が安定してバッテリー電源が供給されているか確認してください。専用ハーネスでの接続の場合、ちゃんとオプションカプラーに接続しているか確認してください。誤ってサービスチェックカプラ（赤）に接続した場合も同様に誤表示します。
A2：HIDなど高電圧ノイズが出る商品がついていませんか？本商品はデジタル制御しているため、ノイズを拾ってしまい誤表示してしまい、最悪の場合、本商品が破損します。

Q：左右のグリップで暖まりが違う。
A：左側はハンドルパイプ（金属）に直付けのため、熱がハンドルパイプに逃げやすいためです。右側はスロットルパイプに取り付けなので、熱が逃げにくくなっています。そのため、比較した場合、どうしても左側の暖まりが悪く感じてしまいます。

Q：片側（もしくは両方）がまったく暖まらない。バッテリー電圧よりかなり異なった電圧を表示している。
A：グリップヒーターの配線が断線している可能性があります。テスターをお持ちなら、グリップのカプラー内に見える端子間抵抗値を測定して9～10Ω 程度が正常値なので、断線していると全く違う抵抗値になります。この場合、グリップの交換になります。

Q：取り付けたグリップヒーターを外したい。
A：取り付けるときには緩まないように接着剤などを塗布しているため、外すことはできません。無理やり外そうとすると故障の原因になるのでお止めください。

Q：2台の車両に取り付けたが温まり方が違う。
A：車両のバッテリーの状態や容量、車両の発電量の違いによって温まり方が異なる可能性があります。また、グリップヒーターを接続している配線の場所によっても暖まり方が異なる可能性があります。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。
※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。
※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。
※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

注意
1. 本商品のパーツリストをもとに部品をご確認してから商品の取り付けをお願いします。
2. 取り付け・調整が終りましたら、各部分のボルト・ナットの締め忘れが無いようにご注意ください。
3. 取り外した純正部品（ボルト等）は元に戻す際に必要になりますので、必ず保管してください。

有限会社エンデュランス　〒350-0822 埼玉県川越市山田1726　TEL 049-222-7770　FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2020.03.30

お客様ならびに販売店（取付店）様へ

安全にお使いいただくために 必ず最初にお読みください。

※商品を受け取りになられたら、まずは商品の構成内容をご確認していただき、過不足がないかチェックしていただくようお願いいたします。
商品によっては小部品などが梱包材の下や段ボール、梱包材に直接貼り付けられている場合がございますのでご確認ください。

※安全上の注意事項※

パッケージ、取扱説明書に記載してある指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

⚠警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 製品包装のビニール袋等は、子供や幼児がかぶったり吸い込んだりしないよう、手の届かないところに片付けるか、廃棄処分してください。
- マフラー、エンジン、ブレーキ等はエンジン始動中及び停止後しばらくは高温になっています。触れると火傷等の怪我や衣服等の可燃物が燃える可能性がありますので、その部分がきちんと冷えるまで人や動物が触れることがないようにしてください。また、近くにガソリンなどの危険物や燃えやすい物を置かないでください。作業を行う際は、エンジンなどがきちんと冷えてから行ってください。
- 本商品に使用されている全てのボルト／ナット類（商品に組み込み済みボルト／ナット類を含む）は取り付けるときに、必ず締め付け確認を行ってください。締め付けは記載された規定のトルクにて確実に行い、記載の無いものについては車両のサービスマニュアルもしくはボルト／ナット類のサイズ／種類にあった規定のトルクにて締め付けてください。締め付けが不確実な場合や組み付け不良等は走行中などに部品が脱落し、事故等に繋がります。
- 取り付け後は100Km程度の試運転後、各ボルト／ナットを規定トルクで増し締めを行ってください。その後も500Km程度ごとに同様の増し締めを行ってください。走行前には、必ず各部の点検及び増し締めを行い、定期点検は必ず行ってください。
- エンジンを始動するときには、換気の良い場所で行ってください。
- エンジン始動時は排気口に手を出したりしないでください。火傷や排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し、安全な場所に停止して、異常個所の点検を行ってください。
- 作業は必ず、水平で安全な状態が確保できる場所で車両を安定させてから行ってください。
- ドライブチェーン、スプロケットなどの回転部分やブレーキ、クラッチレバー／ペダル等の可動部分に手や衣服等を巻き込まれないように注意しながら作業を行ってください。
- ガスケット、Oリング、割ピン等は取り外し毎に必ず新品に交換してください。
- 一般公道（舗装路）において法定速度内でのご使用を想定しております。法定速度を守り安全運転を心がけてください。

⚠注意 誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容を示しています。

- 本商品はオートバイに関する整備の一般的な知識及び技能を有する方（国家資格を持つ整備士）が取り付けることを前提としております。それ以外の方が取り付けを行うと本書の通りに取り付け整備をしても知識不足、技能不足で正しく取り付け整備ができないため、トラブル、破損等の原因となることがあります。国家資格を持つ整備士または指定、認証工場へ取り付けを依頼してください。
- 本商品は記載された適合車種以外への使用はしないでください。また本商品が汎用品の場合は、弊社で確認済み車両以外に取り付けたことにより起こった不具合に関しては保証の対象外となります。
- 本商品はノーマル車両を前提に設計されています。車両に事故歴や転倒歴がある場合や別途アクセサリー部品が取り付けられている場合には適合車種でも取り付けできない場合があります。また弊社で確認済み以外の他商品との組み合わせで取り付けた場合、車両および部品を破損させる可能性があります。
- 塗装仕上げやアルマイト処理が施された商品は、製造上、商品の裏側や取付けステー周辺の表面仕上げにムラが発生する可能性があり、その場合タッチアップペイントを施していることもありますが、その仕上がりについてのクレームはお受けできません。また、地域の環境やメンテナンス次第によっては、サビや色落ち等の素材の経年変化が発生する可能性があり、耐久性や品質等が純正パーツとは異なるものがありますのであらかじめご了承ください。また、お手入れ等を行う際には、ガソリンやシンナー等の溶剤は使用しないでください。塗装や表面処理にダメージを与える原因になります。
- 本商品やパッケージの角部等には、エッジや突起部がある場合があります。その際にはケガ防止のために、整備に適した作業着、帽子、安全靴を装着し、必要に応じて 防塵眼鏡、防塵マスク、手袋等の保護用具を着用して作業を行ってください。また、必要に応じて、ヤスリ等を使用してエッジ部や突起部の処理を行ってください。
- 製品個体差による溶接や塗装、小傷歪み等、程度の差につきましてはあらかじめご了承ください。
- 本商品の各部品に曲げ、切削、溶接等の追加工を行った場合は保証の対象外になり、重大な事故が起こる場合がありますので絶対に追加工等を行わないでください。
- 本商品を取り付けることで、車両側の取り付け面にキズや塗装の剥がれが起こる場合があります。また、部品の脱着するときには、塗装面への傷付きに注意して作業してください。
- 本商品を取り付けることで、車両メーカーからの車両本体の保証修理の対象外になる場合があります。
- 本書は取扱説明書及び本商品の取り付けに際して取り外した部品と一緒に保管してください。本商品または本商品を取り付けた車両を譲られる際には本書及び取扱説明書や警告、注意の記載があるパッケージも併せて譲渡先へお渡しください。
- お客様以外が取り付けを行う場合、取り付けされる方（販売店を含む）は取り付け完了後に各部の緩み、不具合等点検後、危険箇所（バリ、突起部）無きことを確認の上、必要事項を説明し本説明書も必ず一緒にお客様へお渡しください。
- 車両から取り外した純正部品を再利用する場合には、摩耗や破損を確認し、必要であれば新品と交換してください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625

2020.07.08

アクセサリー電源接続キット 取扱説明書 E91000HANA1

適合車種：汎用

このたびは、本商品をお買い上げいただききまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつも手元に置いて、正しい取り扱い方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。

安全上の注意事項

作業に始める前に本書を必ず熟読いただき、記載事項を厳守して作業を行ってください。

⚠警告　※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

・本商品は汎用品となりますので、弊社にて取り付け確認済みの車種（適合車種）以外への取り付けに関することは不明です。
（取り付け確認済みの車両については、弊社WEBページにて最新版をご確認ください）
また、本商品はすべての車両への取り付けを保証しておりません。車種やお客様の使用状況によっては取り付けできない場合がありますのでご了承ください。

・12V車両専用です。6V車両や24V車両などには使用しないでください。。

・取り付けや配線ミスにより発生いたしました破損・不具合等については保証の対象外となります。

・皮膚に本商品の両面テープを貼らないでください。

・本商品の取り付けには両面テープを使用しますが、両面テープでの完全な密着は不可能ですので、使用している間にはがれが生じる可能性があります。定期的なチェックを行い、走行中にはがれないようご注意ください。また、両面テープの性能を発揮させるため、装着後24時間は走行を控えてください。両面テープが浮いてしまいそうな箇所は、両面テープが密着するようにテープ等で押さえ、24時間後にそのテープを外してください。

・本商品に接続した機器に発生した不具合に対しては一切保証いたしかねますのであらかじめご了承ください。

・本商品を取り付ける際には使用する純正部品および車両各部に欠損・損傷が見られた場合はその部品の再使用を避け、新しい部品に交換してください。そのまま使用していると重大な事故等につながる恐れがあります。

・取り付け後は走行前にハーネスの取り回しや接続部など、各部に異常がないか毎回点検を行ってください。

・本商品に発熱目的以外で異常発熱してしまう機器や定格以上の機器を接続しないでください。また、本商品には3ヶ所の電源出力線がありますが、多数または消費電力の大きい機器を接続すると車両のバッテリーへの負荷が大きくなります。定期的にバッテリーをチェックして、補充電するなどメンテナンスをするようにしてください。

・取り付け作業を行なう前に、必ずバッテリーのマイナス端子を取り外してください。とりはずすことなくそのまま作業を行なった場合、誤って配線をショートさせてしまった際に感電の恐れや発熱、発火して火災の原因になり、大変危険です。

・配線を接続する際には、配線の極性をしっかりと確認して、プラス、マイナスの順に接続してください。また、取り外す際には、マイナス、プラスの順で取り外してください。

・走行中に異常が発生した場合は直ちに車両を安全な場所へ停車し、異常箇所を点検してください。正常に機能しない場合にはご使用をおやめください。

・本商品を分解、改造することは大変危険ですので、絶対におやめください。

・本商品は本体（ギボシ部などの接続部は除く）のみ防水・防塵仕様となっておりますが、接続部や本体は雨水やほこりが侵入しにくい車体内側に設置してください。また、ギボシ接続部は接続後に配線テープなどで防水処理することを推奨します。

・本商品は過電流保護のため、それぞれの出力線にPTCサーミスタを使用しております。
PTCサーミスタは電流の熱量によって遮断し、遮断後の電流量や経過時間によっては高温になります。この場合、本体が変形したり、溶けてしまったりする恐れがありますので、遮断された機器は速やかに本体から取り外してください。

＜バッテリーについて＞

特に125CC以下の車両のような発電容量が低い車両への取り付けにはご注意ください。本商品はバッテリー自体が正常に機能していることが前提となりますので、使用量によっては充電不足になってしまい、バッテリートラブルを引き起こすことがあります。また、長時間の暖機運転を行うとバッテリーを消費してしまい、商品が正常に動作しなかったり、バッテリー上がりを起こしてしまいます。発電容量の低い車両には、接続する機器の数を減らすなど消費電力が少なくなるようにして、バッテリーへの負荷を減らしてください。また、走行前や長期保管した車両にはこまめにバッテリーをチェックしていただき、適切なメンテナンスを行ってください。

≪取り付けについて≫

●取り付ける前に

・梱包内容に不備がないか確認してください。

・最初にバッテリーのマイナス端子を取り外して作業してください。

・作業が終わったら、マイナス端子は元に戻してください。

・車体側のアクセサリー電源を確認するうえで、別途テスターなどが必要になります。

・接続する機器によっては、別途ギボシ端子を用意して頂き、専用工具でかしめる作業が必要になります。取り付けする機器の取扱説明書を熟読し、確認してから作業を行ってください。また、ギボシセットは弊社ウェブサイトでも購入可能です。
Φ3．5オスギボシセット（部品番号：08T50EWAE0A）
Φ3．5メスギボシセット（部品番号：08T50EWAE0B）

・車体へ取り付けをする前に商品を仮接続して商品が正常に動作するか確認してください。
⇒本商品のバッテリー線（＋線、－線）を車体のバッテリーに接続し、アクセサリー線はバッテリーのプラス側に接続し、このとき出力線のギボシ端子の＋線、－線、それぞれにテスターを使用して、バッテリー電圧と同等の電圧があるか確認してください。
また、同様の状態でアクセサリー線を外した場合にギボシ端子での出力が0Vになることを確認してください。

梱包品をご確認ください。
電源接続ユニット本体・・・1個
両面テープ・・・・・・1個
タイラップ（150mm）・・・2個
タイラップ（リピートタイプ）・・・2個
エレクトロタップ・・・1個
取扱説明書・・・1部



＜アクセサリー電源について＞

テスターを使用して、キーONにしたときに12V以上の電圧が安定している線を探します。
参考までに下記の表に各メーカーごとの代表的な配線色を示します。
あくまでも参考なので、必ずテスターで確認するか車種ごとの配線図をご確認ください。

	キーON電源	アース線
HONDA	黒もしくは赤 / 黒	緑
YAMAHA	茶もしくは茶 / 青	黒
SUZUKI	橙	黒 / 白
KAWASAKI	茶	黒 / 黄

2021.03.08

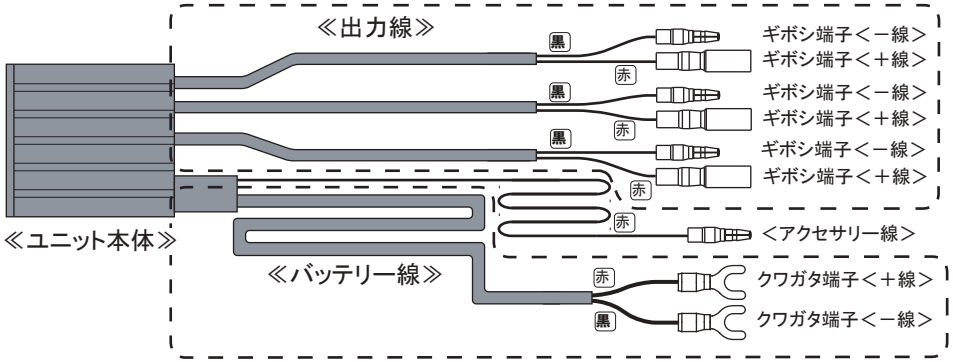
●取り付けについて

＜車体への接続について(図①)＞

①本商品の本体から出ているバッテリー線のプラス線(赤)を車体ハーネスの
プラス線と共締めします。次に、プラス線と同様にマイナス線も接続します。

②本商品の本体から出ているアクセサリー線(赤)を車体側アクセサリー電源に接続します。
※別途、販売している取り付けキットを使用して接続することを推奨します。
※アクセサリー線のギボシ端子を使用しない場合には、ギボシ部が接触しないように
配線テープなどで処理してください。

③本体を設置する位置が決定したら、付属している両面テープやタイラップを使用して、
本体とハーネスを車体に固定します。
※本体を設置する位置は雨水やほこりの影響が少ない場所を考えて決めてください。
また、配線の取り回しはハンドルを左右に動かして、ハーネスに負荷がかかっていないか、
ハンドル操作の邪魔になっていないか確認して問題のないようにしてください。



≪図①≫

＜外部機器の接続について＞

●本体から出ている出力線のメスギボシ端子＜＋(赤)＞、オスギボシ端子＜－(黒)＞に
それぞれ接続する機器の配線を接続します。
※出力線にはそれぞれラベルが貼ってあり、定格出力が記載してあるので、これよりも
大きい消費電力の機器は接続しないでください。



●本商品の出力線はそれぞれ定格出力が7．5A × 2個、5A × 1個となっております。
合計20Aまでは使用できますが、車両側のバッテリーへの負荷が大きくなるため、
定期的にバッテリーのチェック、メンテナンスを行なうようにしてください。

≪注意事項について≫



※付属しているエレクトロタップは配線を簡単に接続できて便利ですが、
接続不良のトラブルが起きやすい部品です。特に走行振動に弱いので、
使用する場合には配線テープなどで揺れないようにしてください。
できるだけエレクトロタップは使わないようにして、ギボシでの接続を
お勧めします。

※本商品で使用しているPTCサーミスタは電流の熱量によって遮断し、遮断後の電流量
や経過時間によっては高温になります。この場合、本体が変形したり、溶けてしまったり
する恐れがあり、大変危険ですので、遮断された機器は速やかに本体から取り外して
ください。

●保証について

※保証期間は購入日より6ヶ月間です。ただし期間内であっても取り付け後の走行距離が5000Kmまでとさせて
いただきます。本商品を取り付け、使用したことで本商品以外の部品等に不具合が発生しても本商品以外の部品や、
その他の保証(修理工賃、レッカー代、交通費、宿泊費等含む)は保証期間内であっても弊社では一切の責任を負
いません。
ご購入いただきました販売店にて下記記入欄に必要事項を記入し、必ず捺印してください。記入漏れや販売店印が
無い場合は保証の対象外となりますので、記入が無い場合には直ちにご購入された販売店にお申し出てください。
また本取扱説明書の記載事項に従ってご使用になられた場合のみ保証の対象となります。
ただし以下の場合には、保証期間内であっても保証の対象外になりますのでご注意ください。
・一般公道以外で本商品の使用。
・誤った組み方や使い方が原因による故障。
・火災、地震などの自然災害、気象変化、犯罪、交通事故などに巻き込まれたことによる故障及び破損。
また、使用後の外観不良に関しては保証対象外になります。万一、お気付きの点がありましたら、ご使用になる前
にお問い合わせください。

ご購入日	ご購入時走行距離	販売店印
年　月　日	Km	

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。
※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。
※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。
※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

注意　取り付け、調整が終わりましたら、ボルト等の締め忘れが無いか再度ご確認ください。

有限会社エンデュランス　〒350-0822 埼玉県川越市山田1726　TEL 049-222-7770　FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

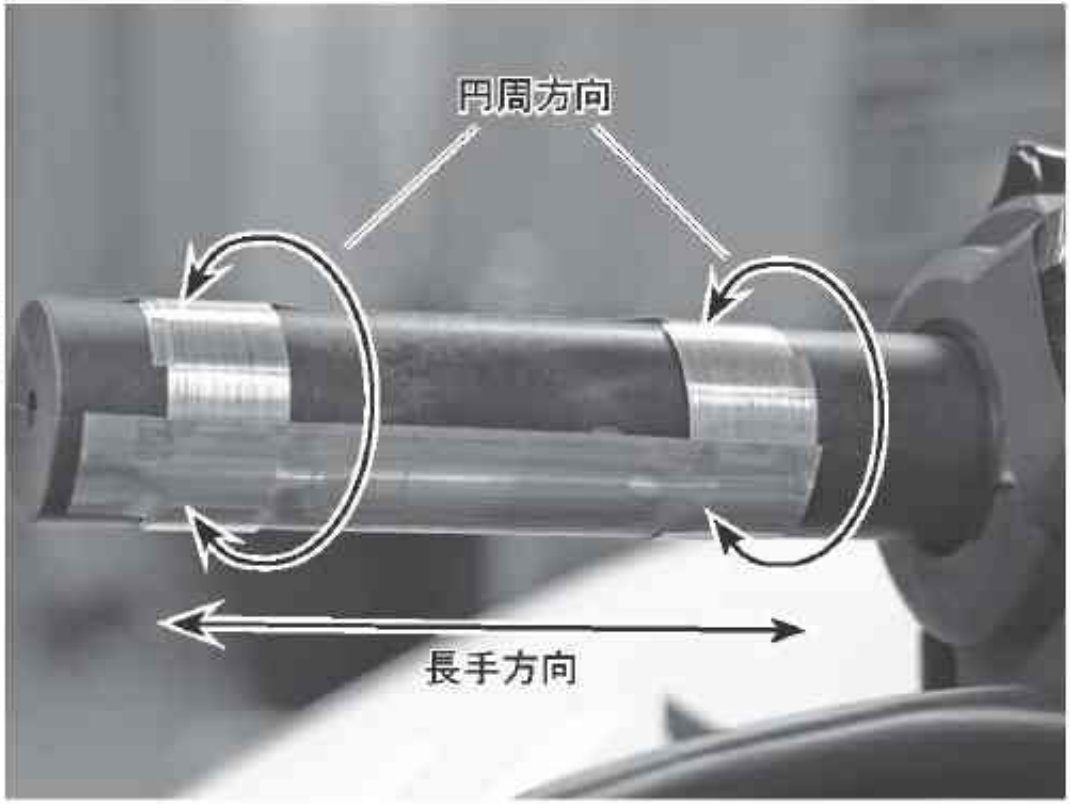
2021.03.08

グリップヒーターについて注意事項

※必ずお読み下さい

<スロットルパイプとのクリアランスについて>

スロットルパイプとのクリアランスが大きい場合があります。
このとき、写真のように円周方向に2カ所、付属のアルミテープを貼り付けて、残りのアルミテープで長手方向に貼り付けるようにして調整してください。
また、必要に応じて別売りの接着剤を使用してグリップの取り付けを行ってください。



・接着剤について・

接着剤は**コニシ製ウルトラ多用途**などの耐熱性のある接着剤をご使用してください。
その際にはすぐには接着されないので、使用した接着剤に記載されている硬化時間まで待ってから使用してください。

有限会社エンデュランス　〒350-0822 埼玉県川越市山田1726　TEL 049-222-7770　FAX 049-226-1625
www.endurance-parts.com/

2025.11.24